

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
情報・情報 I	2	図説 情報 I 新訂版 (実教出版)	
科目の概要と目標	コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を取得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。		
単元	学習内容	到達度目標	
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 自分のアカウントでのログイン タブレットの利用方法 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のアカウントやパスワードを使ってタブレットの電源を入れるところから、ログイン、シャットダウンまでの操作ができる。 本校でのタブレットの利用方法が分かる。 	
序章 情報社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 情報と情報社会の特徴 情報化の進展と情報技術 情報社会における個人の責任 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の意味と情報の特徴について理解することができる。 情報社会での情報化の光と影を理解し、個人に与えている影響を考察することができる。 情報の信憑性、信頼性の意味を理解している。 	
第 1 章 情報社会と問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決 情報社会における法規と制度 情報セキュリティと個人が行う対策 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の手順や手法を理解することができる。 情報の特徴やメディアとの関係、特性を理解し、情報伝達時に適切なメディアの選択ができる。 個人情報保護の重要性を知り、日常生活で注意することができる。 サイバー犯罪の状況を知り、リスクや対策について考えることができる。 	
第 2 章 コミュニケーションと情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> メディア コミュニケーション 情報デザインと表現の工夫 コンテンツの制作 	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達の技術の歴史を知ることができる。 情報伝達する際の留意点を理解することができる。 様々なコミュニケーションについて理解することができる。 ネットワークを介したコミュニケーションについて理解することができる。 ネットワークでのコミュニケーションの守らなければいけないルールとマナーを理解することができる。 プレゼンテーションの方法を知り、実際に発表することができる。 	
第 3 章 情報とコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> 情報の表し方 コンピュータでのデジタル表現 情報機器とコンピュータ 	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の種類と特徴、インタフェースについて理解することができる。 デジタル化のメリットを理解することができる。 情報を 2 進数で表現することについて理解することができる。 文字のデジタル表現、音声・画像のデジタル表現の原理を理解することができる。 適切なデータ量について考えることができる。 	
第 4 章 アルゴリズムとプログラム	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムの基本構造 プログラミングの基礎 プログラミングの応用 	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムの基本やプログラミングの意味が理解できる。 アルゴリズムの基本構造を理解し、フローチャートなどで作成できる。 作成したプログラムが正しいか考察できる。 問題解決のためのプログラミング学習に、粘り強く取り組むことができる。 	
第 5 章 モデル化とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> モデル化 シミュレーション データの活用 	<ul style="list-style-type: none"> モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解できる。 モデル化やシミュレーションに対して興味・関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。 問題解決のためのデータ分析の学習に対し、粘り強く取り組むことができる。 	
第 6 章 ネットワークと情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの仕組み 情報システムとサービス 情報セキュリティ 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの仕組みについて理解することができる。 社会における情報システムを知ることができる。 コンピュータウィルスの種類や被害の状況、及びその対策について理解することができる。 セキュリティ対策の必要性を理解することができる。 	